

東京会場

12/1 (日)
2019. Sun

10:00 - 17:00
(開場 9:30)

青山学院大学17号館
本多記念国際会議場
(定員:562人)

第2回 講演会

雪崩から身を守るために

〈講演会をより理解するための参考図書〉



「雪崩教本」
(山と溪谷社)



「山岳雪崩大全」
(山と溪谷社)



「那須雪崩事故の真相
～銀嶺の破断～」
(山と溪谷社)

- 10:00 開会** 松原峻彦 (青山学院大学山岳部 主将)
- 10:05 -11:00 雪崩事故の医学**
及川欧 (雪崩事故防止研究会・雪氷災害調査チーム・旭川医科大学)
- 11:05 -12:00 雪崩のリスクマネジメント～行動と装備～**
大西人史 (雪崩事故防止研究会・雪氷災害調査チーム・北海道立総合研究機構)
- 12:45 -13:40 積雪安定評価と搜索救助 (AvSAR)**
榊原健一 (雪崩事故防止研究会・雪氷災害調査チーム・MountainSafety.info・北海道医療大学)
- 13:45 -14:40 降雪と気象**
澤柿教伸 (雪崩事故防止研究会・雪氷災害調査チーム・法政大学)
- 15:00 -15:55 雪と雪崩の科学**
尾関俊浩 (雪崩事故防止研究会・雪氷災害調査チーム・北海道教育大学)
- 16:00 -16:55 雪崩事故事例 那須雪崩事故の真相**
阿部幹雄 (雪崩事故防止研究会・雪氷災害調査チーム)
- 16:55 閉会** 阿部幹雄 (雪崩事故防止研究会 代表)

9:30 -17:30

ホワイエにて

企業展示ブース

雪崩対策の最新装備・雪山を楽しむための装備の展示
情報の提供と交流の場

主催 青山学院大学山岳部・那須山岳救助隊・雪崩事故防止研究会

後援 公益社団法人日本山岳会・公益社団法人日本山岳ガイド協会・公益社団法人東京都山岳連盟・株式会社山と溪谷社

協賛



(株)アスティー
arva



(株)ミウラ・ドルフィンズ



日本山岳救助機構合同会社
JRO



(株)ゴールドウイン
THE NORTH FACE



(株)ファイントラック



パタゴニア日本支社



FIELD EARTH



ARC'TERYX

アメアスポーツジャパン(株)
ARC'TERYX



AUTHENTIC JAPAN(株)



(株)マジックマウンテン
ORTOVOX



VOICE OF THE MOUNTAINS



(株)ロストアロー
Black Diamond / PIEPS



講演会事務局
お問い合わせ



雪崩事故防止研究会 事務局

〒064-0921 札幌市中央区南21条西8丁目1-37(株)石田商店内
TEL:011-521-0767 FAX:050-3737-4757 E-mail:info@assh1991.net

<http://www.assh1991.net>



講演者プロフィール

及川 欧 (おいかわ おう) 10:05-11:00 「雪崩事故の医学」



1963年青森県生まれ。旭川医科大学病院リハビリテーション科医師。雪崩事故防止研究会、(公社)日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム。第56次南極観測隊(越冬隊)の医療担当。PUSHプロジェクトの心肺蘇生講習会を通して市民に命に関わる啓発活動を行っている。共著に「山岳雪崩大全」。

大西 人史 (おおにし ひとし) 11:05-12:00 「雪崩のリスクマネジメント」



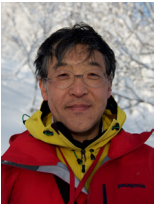
1964年北海道生まれ。(地独)北海道立総合研究機構研究職員。三段山クラブ代表、雪崩事故防止研究会副代表。(公社)日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム、カミフ会。雪崩事故調査のほか講習会の講師や講演など、雪崩事故防止に関わる活動を行なっている。共著に「山岳雪崩大全」「雪崩教本」。

榊原 健一 (さかきばら けんいち) 12:45-13:40 「積雪安定評価と搜索救助(AvSAR)」



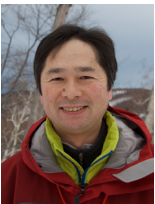
1968年奈良県生まれ。北海道医療大学リハビリテーション科学部准教授。(公社)日本雪氷学会雪崩分科会幹事、同会北海道支部雪氷災害調査チーム。NPO法人北海道雪崩研究会理事、雪崩事故防止研究会、Avalanche Canada、カナダ雪崩協会各会員。Mountain Safety.info 雪崩救助インストラクター。共著に「山岳雪崩大全」「雪崩教本」。

澤柿 教伸 (さわがき たかのぶ) 13:45-14:40 「降雪と気象」



1966年富山県生まれ。法政大学社会学部准教授。博士(環境科学)。北大山の会、雪崩事故防止研究会、(公社)日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム。専門は氷河地質学。第34、47次南極観測隊での2度の越冬観測、第53次夏隊をはじめとして、南極、グリーンランド、ヒマラヤ、パタゴニア、日本アルプスなどでフィールドワークによる研究を続けている。

尾関 俊浩 (おぜき としひろ) 15:00-15:55 「雪と雪崩の科学」



1968年北海道生まれ。北海道教育大学教授。博士(理学)。北大基礎スキー部OB。雪崩事故防止研究会。2010~14年(公社)日本雪氷学会雪崩分科会長。2017年~同会理事。同会北海道支部雪氷災害調査チーム。第52次南極観測隊(夏隊)。雪氷物理学を専門とし、雪崩や着氷雪などの雪氷災害科学の研究を行う。また、雪や氷を使った理科教材の研究にも取り組んでいる。共著に「山岳雪崩大全」「雪崩教本」「積雪観測ガイドブック」。

阿部 幹雄 (あべ みきお) 16:00-16:55 「那須雪崩事故の真相」



1953年愛媛県生まれ。写真家、ビデオジャーナリスト。雪崩事故防止研究会代表。(公社)日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム前代表。北大山とスキーの会。ヒマラヤの遭難で生き残り、長く遺体の搜索収容活動を行ってきた。第49、50、51次南極観測隊(夏隊)の野外観測支援隊員。著書に「那須雪崩事故の真相~銀嶺の破断」「生と死のミニャ・コンガ」ほか多数。

樋口 和生 (ひぐち かずお) 「総合司会」



1962年大阪府生まれ。国立極地研究所南極観測センター設営業務担当マネージャー。雪崩事故防止研究会副代表。(公社)日本雪氷学会北海道支部雪氷災害調査チーム。北大山の会。山岳ガイドを行った後、2008年より南極観測に携わる。第50、52次南極観測隊(越冬隊)の野外観測支援担当隊員。第57次隊では越冬隊長を務める。共著に「決定版雪崩学」。